



# 津山工業高等専門学校校報

第 1 1 6 号 平成 2 0 年 1 月 2 2 日 発行

(平成 1 9 年 8 月 1 日 ~ 平成 1 9 年 1 1 月 3 0 日)

## 目 次

### 校内諸規則

津山工業高等専門学校学則の一部を改正する学則（学則第 2 号）-----	2
津山工業高等専門学校の学業成績の評価並びに各学年の課程修了及び卒業の認定に関する規程の一部を改正する規程（規程第 6 号）-----	3

人事異動-----	5
-----------	---

主要日誌-----	6
-----------	---

諸 報-----	7
----------	---

永年勤続者表彰-----	7
--------------	---

就業規則等の改正-----	7
---------------	---

共同研究-----	8
-----------	---

寄附金-----	9
----------	---

第 7 回レスキューロボットコンテスト-----	9
--------------------------	---

第 4 2 回全国高等専門学校体育大会の成績について-----	9
---------------------------------	---

第 1 4 回全国高専将棋大会-----	10
----------------------	----

オープンキャンパス 2 0 0 7-----	10
------------------------	----

学生募集（4 年次編入学試験）-----	10
----------------------	----

教職員のレクリエーション行事について-----	10
-------------------------	----

1 ~ 4 年生対象の交通安全講習会-----	10
-------------------------	----

科学研究費補助金説明会-----	10
------------------	----

第 2 回 F D 研修会（教務委員会担当）-----	11
-----------------------------	----

悪質商法被害防止講座-----	11
-----------------	----

第 2 7 回岡山県高校秋季将棋大会-----	11
-------------------------	----

全国高等専門学校第 1 8 回プログラミングコンテスト-----	11
----------------------------------	----

第 2 回授業公開（保護者授業参観）-----	11
-------------------------	----

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2 0 0 7 中国地区大会--	12
---	----

ミニオープンキャンパス 2 0 0 7-----	12
--------------------------	----

第 4 3 回中国地区高等専門学校体育大会（冬季大会・ラグビーフットボール）--	12
--	----

性教育（エイズ）講演会-----	12
------------------	----

第 2 3 回中国地区高等専門学校英語弁論大会-----	12
------------------------------	----

留学生実地見学旅行-----	12
----------------	----

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2 0 0 7 全国大会-----	12
--	----

「まなびピア岡山 2 0 0 7」に出展-----	13
---------------------------	----

平成 1 9 年度第 1 回事務部長会議-----	13
---------------------------	----

工事関係-----	13
-----------	----

## 校内諸規則

- 1 制定番号 学則第2号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校学則の一部を改正する学則
- 3 制定年月日 平成19年8月28日
- 4 制定者 津山工業高等専門学校長 阿部 武治
- 5 改正理由 独立行政法人国立高等専門学校機構規則制定に伴い、学則の整備を図るため。

津山工業高等専門学校学則の一部改正新旧対照表

新	旧
<p>第1条～第37条 省略</p> <p>第38条 入学を志望する者は、願書提出と同時に、<u>独立行政法人国立高等専門学校機構における授業料その他の費用に関する規則（平成16年独立行政法人国立高等専門学校機構規則第35号。以下「機構規則」という。）</u>に定める入学検定料を納付しなければならない。</p> <p>第39条 入学料の額は、<u>機構規則</u>に定める額とする。</p> <p>第40条 学生は、<u>機構規則</u>に定める授業料年額を前期及び後期の2期に区分して納付するものとし、それぞれの期に納付する額は、年額の2分の1に相当する額とする。</p> <p>2 前項の授業料は、前期にあつては4月に、後期にあつては10月に納付するものとする。</p> <p>3 前2項の規定にかかわらず、当該年度の後期に係る授業料は、前期に係る授業料を納付するときに、申し出により併せて納付することができる。</p> <p>4 入学年度の前期又は前期及び後期に係る授業料は、第1項及び第2項の規定にかかわらず、入学を許可されるときに、申し出により納付することができる。</p> <p>第41条～第42条 省略</p> <p>第43条 寄宿舎に入居している学生は、入居した日の属する月から退舎する日の属する月までの間、<u>機構規則</u>に定める額の寄宿料を納付するものとする。</p> <p>第44条～第54条 省略</p> <p><u>附則 この学則は、平成19年8月28日から施行し、平成16年4月1日から適用する。</u></p>	<p>第1条～第37条 省略</p> <p>第38条 入学を志望する者は、願書提出と同時に、<u>国立高等専門学校の授業料その他の費用に関する省令（平成16年文部科学省令第17号。以下「省令」という。）</u>に定める入学検定料を納付しなければならない。</p> <p>第39条 入学料の額は、<u>省令</u>に定める額とする。</p> <p>第40条 学生は、<u>省令</u>に定める授業料年額を前期及び後期の2期に区分して納付するものとし、それぞれの期に納付する額は、年額の2分の1に相当する額とする。</p> <p>2 前項の授業料は、前期にあつては4月に、後期にあつては10月に納付するものとする。</p> <p>3 前2項の規定にかかわらず、当該年度の後期に係る授業料は、前期に係る授業料を納付するときに、申し出により併せて納付することができる。</p> <p>4 入学年度の前期又は前期及び後期に係る授業料は、第1項及び第2項の規定にかかわらず、入学を許可されるときに、申し出により納付することができる。</p> <p>第41条～第42条 省略</p> <p>第43条 寄宿舎に入居している学生は、入居した日の属する月から退舎する日の属する月までの間、<u>省令</u>に定める額の寄宿料を納付するものとする。</p> <p>第44条～第54条 省略</p>

- 1 制定番号 規程第6号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校<sup>の</sup>学業成績の評価並びに各学年の課程修了及び卒業の認定に関する規程の一部を改正する規程
- 3 制定年月日 平成19年11月27日
- 4 制定者 津山工業高等専門学校長 阿部 武治
- 5 改正理由
  - 1)従来実施している，教育（成績）評価を明文化するため。
  - 2)社会的な要請（高校年代の評価に合わせる等）に応えるため。
  - 3)修得済み単位を活かして，学生の負担を少なくするため。

津山工業高等専門学校の学業成績の評価並びに各学年の課程修了及び卒業の認定に関する規の一部改正新旧対照表

新	旧
<p>第1条 省略</p> <p>第2条 学業成績の評価は，試験の成績，平素の学習状況及び出席状況を総合して行うものとする。ただし，選択科目のうち，学外実習，資格取得による科目及び<u>ものづくり</u>の技術の評価については別に定める。</p> <p>第3条 試験は，定期試験，追試験，<u>再試験</u>及び単位認定試験とする。</p> <p>第4条及び第5条 省略</p> <p>第6条 <u>再試験は，成績不振である者について，当該科目を担当する教員が指導上必要と認めるときに行うことができる。</u></p> <p>第7条 省略</p> <p>第8条 <u>定期試験及び追試験の成績は，100点を満点として点数により評価する。</u></p> <p><u>2 再試験の評価方法は，当該科目を担当する教員が定め公表する。</u></p> <p><u>3 単位認定試験は，合否を認定する。</u></p> <p>第9条 省略</p> <p>第10条 省略</p> <p>第11条 省略</p> <p>第12条 省略</p> <p>第13条 校長は，学年成績が60点以上の科目について，その点数を得た者が第16条の規定に該当する場合を除き，当該科目の修得を認定する。</p>	<p>第1条 同左</p> <p>第2条 学業成績の評価は，試験の成績，平素の学習状況及び出席状況を総合して行うものとする。ただし，選択科目のうち，学外実習，資格取得による科目及び<u>物づくり</u>の技術の評価については別に定める。</p> <p>第3条 試験は，定期試験，追試験_____及び単位認定試験とする。</p> <p>第4条及び第5条 同左</p> <p>第 条 _____</p> <p>第6条 同左</p> <p>第7条 <u>試験の成績は，100点を満点として点数により評価する。ただし，単位認定試験は合否を認定する。</u></p> <p>_____</p> <p>第8条 同左</p> <p>第9条 同左</p> <p>第10条 同左</p> <p>第11条 同左</p> <p>第12条 校長は，学年成績が60点以上の科目について，その点数を得た者が第15条の規定に該当する場合を除き，当該科目の修得を認定する。</p>

新	旧
<p>2 省略</p> <p>3 省略</p> <p>第14条 省略</p> <p>(1) 省略</p> <p>(2) 省略</p> <p>(3) 省略</p> <p>(4) 省略</p> <p>(5) 省略</p> <p>(6) 省略</p> <p>2 校長は、第1学年及び第2学年に限り、前項第5号のみ条件に該当しない者で、当該学年までの50点以上60点未満の不認定科目単位数を加えた累計単位数が、前項第5号の単位数を満たした場合は、当該学年の課程の修了を認定する。ただし、当該不認定科目の修得を認定するものではなく、上級学年に進級した場合、単位認定試験によって当該不認定科目の修得を認定されない限り、修得累計単位数に加えることはできない。</p> <p>第15条 省略</p> <p>第16条 省略</p> <p>第17条 原級留置の決定を受けた者は、その年度において履修した科目の全科目を修得しなかったものとし、当該学年における所定の科目をすべて再履修するものとする。ただし、選択科目及び第3学年以上の必須科目（特に指定された科目を除く。）については、<u>単位を認定された科目に限り当該学年で履修し修得したものとみなし、再履修を免除する。</u></p> <p>2 省略</p> <p>第18条 第7条に該当する者については、自発的学習科目以外の選択科目を除き、単位認定試験を受けることができる。</p> <p>2 省略</p> <p>3 省略</p>	<p>2 同左</p> <p>3 同左</p> <p>第13条 同左</p> <p>(1) 同左</p> <p>(2) 同左</p> <p>(3) 同左</p> <p>(4) 同左</p> <p>(5) 同左</p> <p>(6) 同左</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <p>第14条 同左</p> <p>第15条 同左</p> <p>第16条 原級留置の決定を受けた者は、その年度において履修した科目の全科目を修得しなかったものとし、当該学年における所定の科目をすべて再履修するものとする。ただし、選択科目及び第3学年以上の必須科目（特に指定された科目を除く。）については、<u>第12条の規定にかかわらず評点が70点以上の科目に限り当該学年で履修し修得したものとみなし、再履修を免除する。</u></p> <p>2 同左</p> <p>第17条 第6条に該当する者については、自発的学習科目以外の選択科目を除き、単位認定試験を受けることができる。</p> <p>2 同左</p> <p>3 同左</p>

新	旧
<p>4 省 略</p> <p>5 省 略</p> <p>第<u>19</u>条 省 略</p> <p>第<u>20</u>条 省 略</p> <p>第<u>21</u>条 省 略</p> <p>第<u>22</u>条 第<u>12</u>条に規定する欠席時間数並びに第<u>14</u>条に規定する欠席日数の算定については、別に定める。</p> <p><u>附 則</u></p> <p><u>この規程は、平成20年4月1日から施行する。</u></p>	<p>4 同 左</p> <p>5 同 左</p> <p>第<u>18</u>条 同 左</p> <p>第<u>19</u>条 同 左</p> <p>第<u>20</u>条 同 左</p> <p>第<u>21</u>条 第<u>11</u>条に規定する欠席時間数並びに第<u>13</u>条に規定する欠席日数の算定については、別に定める。</p> <hr/>

## 人事異動

個人情報を含むため公開せず。

## 主要日誌

- 8月6日 全国高専体育大会壮行会  
9日 防火戸対応説明会  
10日 閉寮  
10日～12日 第7回レスキューロボットコンテスト(神戸市)  
18日～26日 第42回全国高専体育大会(四国地区)  
20日 将来構想委員会, 教務委員会, 閉寮  
21日～23日 第14回全国高専将棋大会(沼津高専)  
22日 主事会議, 寮務委員会  
24日～25日 オープンキャンパス2007  
28日 運営会議, 学科改革推進特別委員会, 安全衛生委員会, 入学試験委員会, 4年次編  
入学試験  
31日 教職員レクリエーション大会
- 9月2日 一斉集会  
3日 専攻科運営委員会  
4日 教員会議, 交通安全講習会(情報工学科3年)  
5日 外部評価点検委員会, 教養講座(食育について)  
11日 将来構想委員会, 産学連携推進委員会, 交通安全講習会(機械工学科2年), 留  
生と語る会  
14日 主事会議  
18日 教務委員会  
21日 学生生活委員会  
25日 運営会議, 学科改革推進特別委員会, 安全衛生委員会, 寮務委員会  
26日 科学研究費補助金説明会  
27日 第2回FD研修会(教務委員会担当)  
28日 将来構想委員会, 悪徳商法被害防止講座
- 10月1日 専攻科運営委員会  
2日 教員会議, 交通安全講習会(電気電子工学科2年)  
3日 寮生総会・寮生会役員認証式  
5日～6日 第27回本田宗一郎杯エコノパワー燃費競技全国大会(茂木)  
6日 第27回岡山県高校秋季将棋大会  
6日～7日 全国高専第18回プログラミングコンテスト(津山高専)  
9日 産学連携推進委員会, 交通安全講習会(電子制御工学科2年)  
11日 外部評価点検委員会  
13日 近隣町内会との懇談会・寮生焼肉大会  
15日 北辰寮防火避難訓練  
16日 交通安全講習会(情報工学科2年), 寮務委員会  
16日～19日 第2回授業公開(保護者授業参観=16日のみ)  
17日 秋季スポーツ大会  
19日 外部評価点検委員会  
23日 教務委員会, 学生生活委員会, 交通安全講習会(機械工学科4年)  
24日 外部評価点検委員会  
26日 学術情報委員会

- 27日～28日 第15回衛星設計コンテスト（東京），  
 28日 アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト2007中国地区大会（呉高専）  
 29日 将来構想委員会
- 30日 運営会議，学科改革推進特別委員会，安全衛生委員会，交通安全講習会（1年全員），  
 （電気電子工学科4年），認証評価訪問調査に係る説明会
- 31日 中国地区高専体育大会（冬季大会）及び中国地区高専英語弁論大会壮行会
- 11月3日 寮生保護者連絡会
- 3日～4日 弥生祭，ミニオープンキャンパス2007  
 5日 専攻科運営委員会，外部評価点検委員会  
 6日 教員会議，交通安全講習会（電子制御工学科4年）  
 7日 交換寮生派遣（～13日一関高専）  
 7日～9日 認証評価訪問調査（大学評価・学位授与機構）  
 9日 学術情報委員会  
 9日～11日 第43回中国地区高専体育大会（冬季大会）（呉高専）  
 12日 主事会議，交換寮生派遣（～18日舞鶴・阿南・有明）  
 13日 進学ガイダンス，交通安全講習会（情報工学科4年）  
 15日 将来構想委員会  
 16日 性教育講演会（1年生全員）  
 16日～17日 第23回中国地区高専英語弁論大会（津山高専）  
 17日～18日 留学生実地見学旅行  
 20日 安全衛生委員会，教務委員会，就職ガイダンス，学生生活委員会，寮務委員会  
 22日 永年勤続者表彰式  
 25日 アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト2007全国大会（東京・国技館）  
 27日 運営会議，学科改革推進特別委員会  
 29日～30日 平成19年度第1回中国地区高等専門学校事務部長会議

## 諸 報

### 永年勤続者表彰

独立行政法人国立高等専門学校機構教職員表彰規則第2条第1項第1号の規定に基づき，永年勤続者表彰式が平成19年11月22日（木），会議室において行われ，校長から受彰者に対し表彰状及び記念品が授与された。

所 属	職 名	氏 名
電気電子工学科	准 教 授	原 田 寛 治
電子制御工学科	准 教 授	野 村 健 作
情報工学科	准 教 授	藪 木 登
電気電子工学科	講 師	前 原 健 二
総 務 課	主 任	赤 松 美 行

### 就業規則等の改正

- 1 独立行政法人国立高等専門学校機構教職員給与規則が平成19年11月30日に一部改正された。改正の概要は下記のとおり。

(1) 本給表の改正（別表第1関係）

初任給を中心とした若年層に限定した本給月額の上引き改定

（中・高年層は据置き）

一般職員本給表(一)

初任給172,200円（現行170,200円）

改定率 1級1.1% 2級0.6% 3級0.0% 4級以上なし

その他の本給表

一般職員本給表(一)との均衡を基本に改定

（指定職員本給表を除く。）

(2) 扶養手当の改正（第24条関係）

民間の支給状況、少子化対策の推進等を勘案し、子等に係る支給月額の見直し

子等に係る支給月額の500円の上引き

（現行6,000円 6,500円）

(3) 勤勉手当の改正（第35条関係）

民間の支給割合及び勤務実績をより反映しうるよう支給割合の見直し

年間支給割合を0.05月分の上引き

（現行期末手当と併せて4.45月分 4.5月分）

(4) 実施時期

改正の日

（上記(1),(2)については平成19年4月1日）

2 独立行政法人国立高等専門学校機構教職員給与規則の改正により非常勤教職員の日給又は時間給が見直しされた。

共同研究

研究題目	自己照明プログラムの実験的解析
共同研究員	国立大学法人豊橋技術科学大学 岡本 吉央
本校担当者	情報工学科 講師 菊地 洋右
経費	400,000円
研究期間	平成19年8月1日～平成20年3月31日
研究題目	国内最小細管高性能型照明器具の開発
共同研究員	サンエー電機(株) 上田 清
本校担当者	電気電子工学科 教授 植月 唯夫
経費	600,000円
研究期間	平成19年9月20日～平成20年3月31日
研究題目	出雲街道再発見デジタルアーカイブサイト構築事業
共同研究員	IT支援センター 村田 勇
本校担当者	情報工学科 教授 岡田 正, 講師 寺元 貴幸
経費	500,000円
研究期間	平成19年9月21日～平成20年3月31日



研究題目 無電極放電ランプのプラズマ計測に関する研究  
共同研究員 松下電工(株)照明事業本部 掛橋 英典  
本校担当者 電気電子工学科 教授 植月 唯夫  
経 費 750,000円  
研究期間 平成19年10月12日～平成20年3月31日

#### 寄附金

寄附者 津山ロータリークラブ  
寄附の目的 国際交流助成  
寄附年月日 平成19年10月10日  
寄附金額 500,000円

寄附者 岡谷電機産業(株)埼玉技術センター  
寄附の目的 植月 唯夫(放電および電極材料に関する研究関連)の助成  
寄附年月日 平成19年10月13日  
寄附金額 100,000円

寄附者 (株)超高温材料研究所 岐阜事業所  
寄附の目的 奥山 圭一(材料開発および物性取得試験)の助成  
寄附年月日 平成19年10月15日  
寄附金額 700,000円

寄附者 ハリソン東芝ライティング(株)  
寄附の目的 植月 唯夫(低圧放電灯の電極材料及び構造の研究)の助成  
寄附年月日 平成19年11月21日  
寄附金額 800,000円

寄附者 ハリソン東芝ライティング(株)  
寄附の目的 原田 寛治(新電極開発に関する研究)の助成  
寄附年月日 平成19年11月21日  
寄附金額 400,000円

寄附者 津山圏域勤労者互助会長  
寄附の目的 宮下 卓也の研究助成金  
寄附年月日 平成19年6月22日  
寄附金額 70,000円

寄附者 津山圏域勤労者互助会長  
寄附の目的 曾利 仁の研究助成金  
寄附年月日 平成19年6月22日  
寄附金額 70,000円

#### 第7回レスキューロボットコンテスト

8月10日(金)～12日(日)に神戸市で開催されたレスキューロボットコンテストに、7月の予選を勝ち抜いた本校電子制御工学科ロボコンチームが参加し、見事総合1位に輝いた。併せて「レスキュー工学大賞」、「ベストポイント賞」、「アールエスコンポーネンツ杯」も受賞する快挙を達成した。

#### 第42回全国高等専門学校体育大会の成績について

8月18日(土)～26日(日)の間、四国地区において、弓削商船高専が担当校、他の高専が協力校として運営に当たり、第42回全国高等専門学校体育大会が開催された。

本校からは、中国地区大会で上位の成績を修めた陸上競技、柔道、剣道、テニス及び水泳の5種目に各選手が参加して活躍した。

#### 第14回全国高専将棋大会

8月21日(火)から23日(木)の3日間、沼津高専を担当校に沼津市で開催された。成績は次のとおり

男子団体戦(A)ベスト8 女子個人戦準優勝 C-1 赤田桃子

これにより、女子個人で準優勝した赤田桃子は、12月開催の中国地区大会(岡山市)及び平成20年1月開催の全国大会(秋田県田沢湖)に出場することとなった。

#### オープンキャンパス2007

8月24日(金)・25日(土)の2日間に亘り、本校において、オープンキャンパス2007を開催した。午前中は学科紹介(2学科見学可)を、午後は、体験コーナー(各学科の特徴が盛り込まれた、8コーナーのうち実験実習を含む実体験2コーナー参加可)を主体に、1日入学を体験した。また、学寮を含む構内自由見学・相談コーナー等が企画され、2日間で中学生369人(1・2年生を含む)、保護者等151人、引率中学校教諭14人、計534人(参加中学校数108校)の参加があった。

#### 学生募集(4年次編入学試験)

8月28日(火)本校において、平成20年度4年次編入学者選抜試験を実施し、選抜の結果、8月31日次のとおり合格者を発表した。

(志願合格状況は次のとおり)

志願者数 8名

(機械=1名、電気電子=2名、電子制御=0名、情報=5名)

合格者数 4名

(機械=1名、電気電子=1名、電子制御=0名、情報=2名)

#### 教職員のレクリエーション行事について

平成19年度教職員のレクリエーション行事として、8月31日(金)、本校にてバドミントン大会やソフトバレー大会が実施され、多数の教職員が参加し、白熱した好ゲームが繰り広げられた。

#### 1~4年生対象の交通安全講習会

9月4日、11日、10月2日、9日、16日、23日、30日、11月6日、13日の9日間、市内の自動車学校で、交通安全意識の高揚と交通事故及び違反等の防止を目的とした交通安全講習会を2・3・4年生を対象に各クラス単位で実施した。学生たちは、運転実技、講義などの講習を受け、交通マナーを守ることの大切さや安全運転への認識を深めていた。

また、10月30日には、本校に津山警察署から講師を招き、1年生を対象として二輪車の運転に関する講演を実施した。

#### 科学研究費補助金説明会

9月26日(水)科学研究費補助金について理解を深めるために、教職員を対象とした説明会を開催した。講師として、文部科学省研究振興局学術研究助成課学術団体専門官の大城 功氏を招き、「科学研究費補助金の現状と課題について」と題して、科研費の意義、主な制度・運用上の改善点や不正使用防止のための取り組み等詳細な説明があった。

## 第2回FD研修会（教務委員会担当）

9月27日（木）13時30分から，合併教室において，教務委員会担当による本年度第2回FD研修会（テーマ：授業改善活動とその活動を取り巻く状況）を開催した。

これまで，教員自ら授業改善を進める形で「授業改善活動」を展開してきており，平成18年度からは，更にその活動を推し進めるために，授業改善システムの資料公開，授業公開を実施し，学習到達度試験を導入した。

種々の工夫を試みるなかで，認証評価等を通じて，それらの改善成果や効果を問い直そうとする動きが見られる。そこで，これまでの授業改善の活動状況やその活動を支援する体制・活動の状況及び結果・達成度等を点検し，今後の課題等について議論した。次の，それぞれの立場（委員会等）で取り組んできた次の3題についての事例（実状等）報告を受けて，参加者全員でそれぞれの取り組みに対する点検及び課題について議論できたことは，今後の進むべき道を模索・認識できる意義深い研修会であった。

事例報告等（3題）

『これまでの授業改善活動のまとめと課題』（小西教務主事補）

『自己評価書での評価結果』（吉田外部評価点検委員）

『数学の到達度試験概要と結果』（松田教員＝一般・数学）

## 悪質商法被害防止講座

9月28日（金），講師に岡山県消費生活センター津山分室の消費生活相談員である佐藤素子氏を招き，3年生を対象とした悪質商法被害防止講座を「自立した消費者になるために」と題し開催した。

この講座は，最近，悪徳商法による若者の被害が増加していることから専門の講師による講演を通じて，契約の知識や，消費生活相談事例を学ぶことにより，自立した消費者を目指すことを目的として毎年開催しているもの。

参加した学生は，根拠のない請求の対処方法・契約の成立と解約・クレジットの仕組み等身近な事例を題材にした講話ということもあり，熱心に聴講していた。

## 第27回岡山県高校秋季将棋大会

10月6日（土），水島工業高校を会場に開催され，本校から男子団体戦及び女子個人戦に出場した。

成績は次のとおり

男子団体 準優勝 女子個人戦 準優勝

これにより，女子個人で準優勝した赤田桃子は，12月開催の中国地区大会（岡山市）及び平成20年1月開催の全国大会（秋田県田沢湖）に出場することとなった。

## 全国高等専門学校第18回プログラミングコンテスト

10月6日（土）から7日（日）の2日間，本校を当番校に津山文化センターを会場にして，全国高等専門学校第18回プログラミングコンテストが盛大に開催された。学生・教職員一体となった運営に，参加したプロコン及び各高専関係者から謝辞があった。

なお，本大会のDVDによる公式記録が作成された。

## 第2回授業公開（保護者授業参観）

10月16日（火）～19日（金），本年度第2回目の授業公開（保護者授業参観＝16日のみ）を実施した。本年度第2回目ということで1回目よりも大幅に減少したが，32名の保護者が参観した。また，授業改善を目的とした学内教職員への授業公開としては，教員に負担をかけないことを前提に，期間を1週間の長期に設定し，空き時間の範囲内で他の授業を参観する方法を導入した。

### アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2007中国地区大会

10月28日(日)呉高専が担当校となり、呉高専第一体育館でアイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2007中国地区大会が開催され、本校からは、電子制御工学科から“吉備津彦”と情報総合研究部から“勝覇”が出場した。今大会は、「ロボット騎馬戦」と題され、赤白それぞれ5本の旗を奪い合う対戦型ロボコンであった。

今年も中国地区8校から各校2チームの16チームが出場しトーナメント形式で戦ったが、本校から出場した2チームは快調に勝ち上がり、決勝では津山同士の同校対決となったが、接戦を制し優勝した“吉備津彦”は11月25日(日)東京国技館で行われる全国大会に出場することとなった。

### ミニオープンキャンパス2007

11月3日(土)・4日(日)の弥生祭(学園祭)期間(2日間)中、初めてミニオープンキャンパス2007を開催した。資料配付・掲示・DVD上映等により、来場者(14組32名)の相談・質問に対し、入試関係を中心に学科説明等を行なった。

### 第43回中国地区高等専門学校体育大会(冬季大会・ラグビーフットボール)

11月9日(金)~11日(日)に呉高専が担当校となり、呉市総合スポーツセンターを会場として第43回中国地区高等専門学校体育大会(冬季大会)が開催され、全国大会出場権を賭けた熱戦が展開された。

本校は、10日(土)に一回戦で呉高専と対戦し、健闘むなしく12-19で敗退した。

### 性教育(エイズ)講演会

11月16日(金)、岡山大学保健環境センター教授、戸部和夫氏を講師に招き、1年生を対象とした性教育講演会を開催した。

講演は、「エイズの基礎知識」と題され、本校用に作成されたパワーポイントやビデオを使ってわかりやすく説明され、学生たちは日常の授業等で得ることの出来ない情報に興味を示しながら熱心に聴講していた。

### 第23回中国地区高等専門学校英語弁論大会

11月16日(金)、17日(土)に本校を当番校として第23回中国地区高等専門学校英語弁論大会が開催され、本校から4名、中国地区の7高専から24名の学生参加者があった。

初日は、津山鶴山ホテルを会場に美作大学から講師を招き、シンポジウムや学生交流会を開催し、2日目には本校合併教室で暗唱の部、スピーチの部にそれぞれ14名が参加した。

本校学生の主な成績はつぎのとおり

暗唱部門 C-2 大谷 舞 2位

スピーチ部門 S-5 谷口孝仁 2位

この結果、スピーチ部門で2位に入賞した谷口君は、来年1月オリンピック記念青少年総合センターで開催される全国大会に出場することとなった。

### 留学生実地見学旅行

11月17日(土)・18日(日)の2日間にわたって、深まりゆく秋の京都見学旅行を実施した。京都御所・銀閣寺・清水寺・京都市内自由見学等で日本の文化・歴史の理解を深めるとともに、留学生とチューターをはじめ参加者相互の親睦を深める事ができた。

### アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2007全国大会

11月25日(日)東京国技館で開催されたアイデア対決・全国高等専門学校ロボットコン

テスト2007に出場した本校電子制御工学科の“吉備津彦”は、1回戦、2回戦と順調に勝ち上がったものの、準々決勝で敗退しベスト8となった。

津山を前日の夜、貸し切りバスで出発し応援に駆けつけた本校OB、保護者、学生ら数十名は、出場した学生らに惜しめない拍手を送っていた。

#### 「まなびピア岡山2007」に出展

第19回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア岡山2007」が11月2日（金）から6日（火）の5日間にかけて岡山県で開催されました。本校では主会場の県総合グランドへ機械工学科がウィンドカー（製作体験）、情報工学科は全国プロコン（演示実験）、一般科目（数学）はK-パスカル（パネル展示）を出展し、多くの方に本校における教育の一端を紹介した。また津山市では「高専の学生とロボットを動かそう」の題名でレスキューロボットを出展した。

#### 平成19年度第1回事務部長会議

平成19年11月29日（木）・30日（金）、本校において平成19年度第1回中国地区高等専門学校事務部長会議を開催した。同会議には中国地区8高専の事務部長が出席し、緊急地震速報開始に伴う取り組み、事務部の組織体制、研究用大型設備機器の更新方法等について、活発な意見交換が行われた。

#### 工事関係

8月31日 総合情報センター空調機改修工事完成

発行	津山工業高等専門学校
発行年月日	平成20年1月22日

